

2022年9月9日

内閣総理大臣
岸田文雄 殿

徳島大学教職員労働組合
中央執行委員長 今井晋哉

安倍晋三元首相の「国葬」につき 国会での十分な説明と審議を求めます

安倍晋三元首相の逝去を受けて、貴職におかれましては「国葬」を開催することを閣議決定されたと報道されております。

しかしながら、「国葬」となると、国費を投じて国を挙げて元首相への弔意を表すこととなります。それによって、国民・市民のあいだで評価が大きく分かれる元首相の実績を特別視し、それに対する批判的評価をなかったことにする効果を生みだしかねないと危惧します。これは、故人の追悼という個々人の内心の自由に属することを一方向に誘導することにつながると考えます。

また、そもそも現行憲法下において「国葬」の举行については明確な法的根拠がなく、「国葬」の開催については国会内のみならず国民のあいだにも多くの反対の声が出ております。そうした状況にあって、国会での議論もないままに一方的に開催を決定することは、熟議にもとづく合意形成を旨とする民主主義の根本的な理念に反していると言わざるをえません。少なくとも国会において反対派も納得するような理由を丁寧に説明される必要だと考えます。つきましては、下記のとおり求めます。

記

安倍晋三元首相の「国葬」に関して、国会にて反対派も納得するような丁寧な説明と審議を求めます。

以上